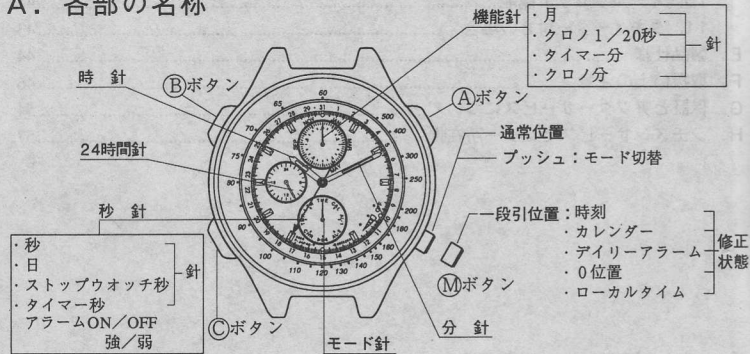


目 次

A. 各部の名称	4
B. モードの切り替え	5
C. ご使用になる前に	6
D. 各モードのセット・操作方法	9
1. デモンストレーション運針	9
2. 時刻の合わせ方 (TME)	11
3. カレンダーの合わせ方 (CAL)	14
4. クイックセットアラームのセット (AL-1)	18
5. デイリーアラームのセット (AL-2)	22
6. ストップウォッチの操作 (CHR)	27
7. タイマーのセット (TMR)	31
8. ローカルタイムの合わせ方 (L-TM)	34
9. 通常時刻モードでのモニター機能	38
a. カレンダーモニター	38
b. デイリーアラーム (AL-2) セット時刻モニター	39

10. オールリセット機能	41
11. タキメーター付きの場合	43
E. 製品仕様	44
F. 取扱い上の注意	46
G. 保証とアフターサービスについて	54
H. シチズンサービスセンター所在地	57

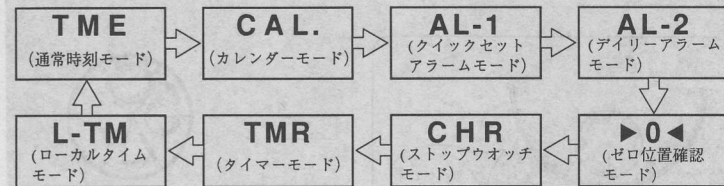
A. 各部の名称



・ ☐ の中は各針の持っている機能を表わします

B. モードの切り替え

＜リュウズ通常位置でプッシュ！すると次の順でモードが切り替わります＞

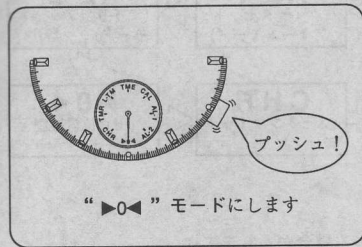


使用上の注意

(M) ボタンを気がつかないうちに押している場合があります。
モード針の位置をしっかりと確めて、適切なモードでご使用下さい。

C. ご使用になる前に

この時計をご使用になる前に、必ず各機能が正しく作動する状態にあることを、次の方法で確認して下さい：ゼロ位置確認



- ・時・分針・24時間針・秒針・機能針がゼロ位置と思われる場所へ走ります
- ・24時間針は時・分針に連動しています



この時、針の位置が次の位置にあれば、正しくゼロ位置合わせができている事になります。

時針12時
分針00分
24時間針24時
秒針00秒
機能針00秒

位置

もし前述の位置に針がない時には“ゼロ位置合わせ”をして下さい。

ゼロ位置合わせ



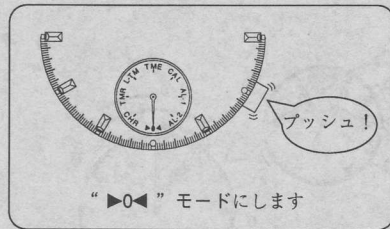
- 1) (M)ボタンを1段引きにします
(A)ボタンを押して秒針を0秒位置(真上)に合わせます
(B)ボタンを押して機能針を12時位置(真上)に合わせます
(C)ボタンを押して時・分・24時間針を12時位置(真上)に合わせます
- 2) (M)ボタンを確実に通常位置へ押し込みます。これでゼロ位置合わせの完了です。

☆(A)、(B)、(C)ボタンいずれも、押し続けられれば早送りができます

☆ゼロ位置は時計に強い衝撃が加えられるとズレる場合があります。その時はゼロ位置を正しく合わせ直して下さい。

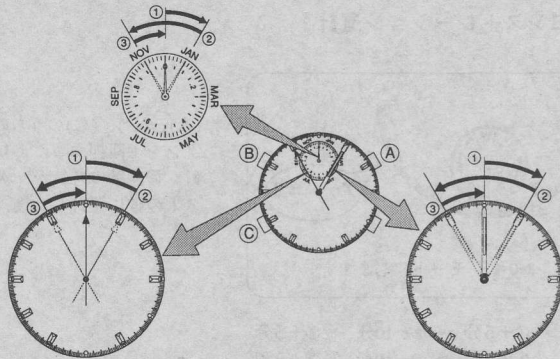
D. 各モードのセット・操作方法

1. デモンストレーション運針



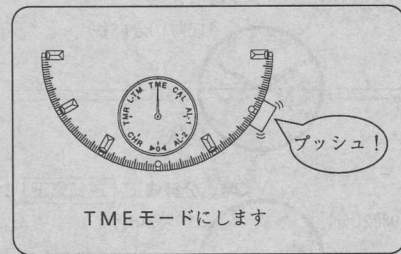
(A)、(B)、(C)のうちのどれかのボタンを1回押す事により、分針、秒針、機能針の各針が、次ページイラストの様に運針した後、0位置で停止します。

- ・分針: ①+5分 → ②-10分 → ③+5分
- ・秒針: ①+5秒 → ②-10秒 → ③+5秒
- ・機能針: ①+5 → ②-10 → ③+5



2. 時刻の合わせ方 (TME)

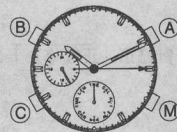
<10時10分15秒を19時20分00秒へ合わせます>



・針合わせをする時には、24時間針を目安にして午前／午後を間違えない様にセットして下さい。

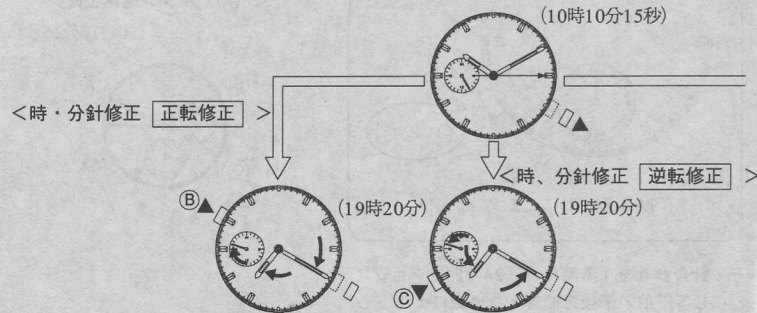
< (M) ボタン通常位置 >

(10時10分15秒)



セットの方法

< (M) ボタン1 段引き >



☆(B)、(C)ボタンどちらも押し続けられれば早送りができます

☆時・分針修正の2 周目以降は1 周目のほぼ倍の速さで運針します (正転修正のみ)

☆時・分・24時間針は連動しています

< 秒針修正 **秒帰零** >

(00秒) 秒帰零

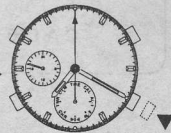


(A) ボタンを押した時の秒針位置が

- ・ 0 ~ 29秒...分は元の状態を維持します
- ・ 30 ~ 59秒..分は1分加算されます

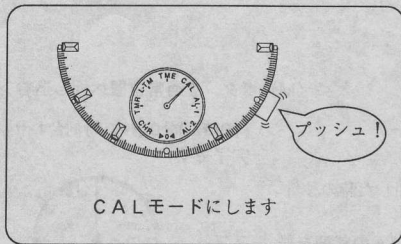
< (M) ボタンを通常位置へ押し込む >

(19時20分00秒に時刻合わせ完了です)



3. カレンダーの合わせ方 (CAL)

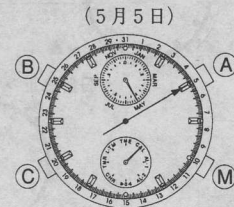
< 5月5日を9月9日へ合わせます >



カレンダー月末無修正機能

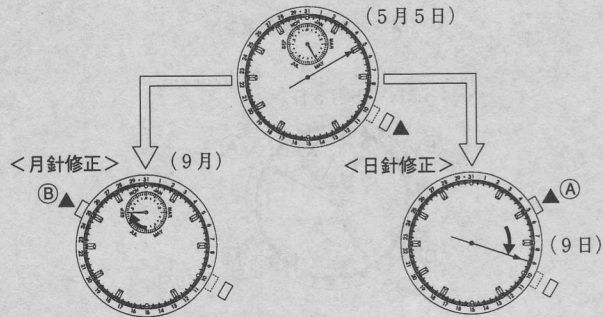
この時計のカレンダーは月末無修正です。但し、うるう年（2月29日）のみは修正をしてください。

< (M) ボタン通常位置 >



セットの方法

< (M) ボタン一段引き >

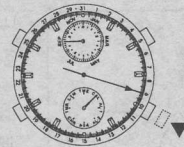


☆(A)、(B)ボタンどちらも押し続けられれば早送りができます

☆月、日、単独修正です

< (M) ボタンを通常位置へ押し込む >

(9月9日にカレンダー合わせ完了です)

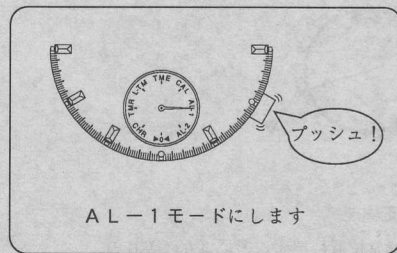


・非存日自動修正機能

(M)ボタンを通常位置に戻すことにより、翌月の1日になります (例：2月30日→3月1日)

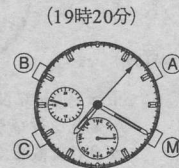
4. クイックセットアラームのセット (AL-1)

＜現在時刻（19時20分）から50分後（20時10分）にアラームを鳴らす＞



クイックセットアラーム機能
アラームOFF状態では、時・分・24時間針・秒針共に現在時刻表示をしています。従って現在時刻から、簡単に目的の時刻（最大23時間59分後まで）へ、アラームセットができます。そして1回鳴りが完了すると、アラームセットは自動的に解除されて時・分・24時間針・秒針共に現在時刻運針に戻ります。鳴り時間は10秒間です。

＜(M) ボタン通常位置 でアラームセットができます＞



＜サウンドモニター（5秒間）＞

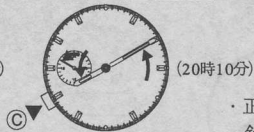
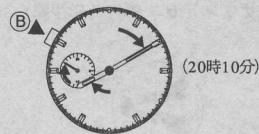


・クイックセットアラームOFF時に
(A)ボタンを押します。

セットの方法

＜クイックセットアラーム Auto ON機能＞

＜時・分針修正 **正転修正**＞＜時・分針修正 **逆転修正**＞



・正転・逆転に関係なく、時分針修正を行なうと同時に秒針が0秒位置まで走り停止します。これでアラームONです。

- ・アラームON状態：秒針が0秒位置停止
- ・アラームOFF状態：時・分・24時間針・秒針が現在時刻を表示します。

☆(B)、(C)ボタンどちらも押し続ければ早送りができます

☆時・分針修正の2周目以降は1周目のほぼ倍の速さで運針します（正転修正のみ）

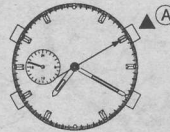
☆時・分・24時間針は連動しています

＜クイックセットアラームセット完了＞

(20時10分)



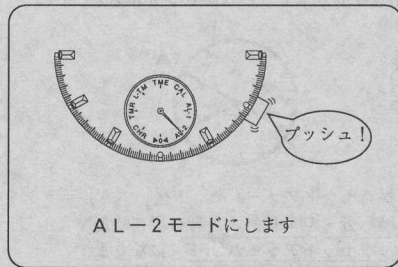
＜クイックセットアラームキャンセル方法＞



- ・クイックセットアラームセット後、(A) ボタンを押すと時・分・24時間針、秒針は現在時刻を表示し、**クイックセットアラームOFF** になります。

5. デイリーアラームのセット (AL-2)

<毎日、15時00分にデイリーアラームを鳴らす>

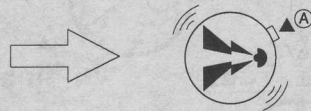


- ・ デイリーアラーム機能
アラーム時刻を1度セットすると毎日目覚し時計の様に同じ時刻に鳴らすことができます。鳴り時間は15秒間です。
- ・ アラーム音切り換え機能
アラーム音は、2つのうちどちらか好みの音が選択できます

< (M) ボタン通常位置 >



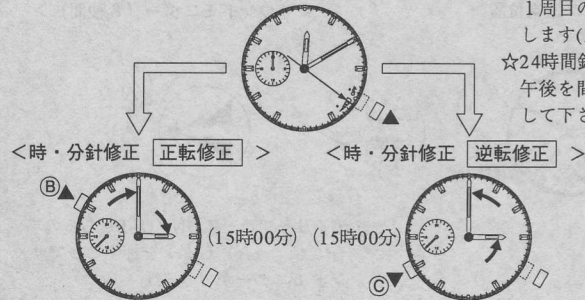
< サウンドモニター (8 秒間) >



- ・ デイリーアラームON/OFFどちらの場合でも、(A) ボタンを押すことでサウンドモニターができます

セットの方法

< (M) ボタン一段引き >

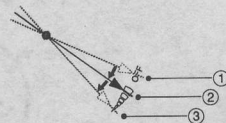


☆(B)、(C)ボタンどちらも押し
続ければ、早送りができます。
☆時、分針修正の2周目以降は
1周目のほぼ倍の速さで運針
します(正転修正のみ)
☆24時間針を見ながら、午前・
午後を間違えない様にセット
して下さい。

・時・分・24時間針は連動します
24

デイリーアラームAuto ON機能

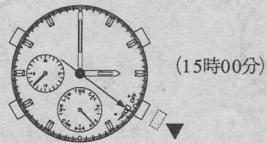
- ・(M)ボタン一段引き操作と同時に秒針が①→②位置へセットされ、アラームONとなります。
- ・アラーム音選択機能／アラームキャンセル



- ・アラームのキャンセル及びON/OFF切り換えは (A) ボタンを押して秒針を1～3の必要な位置へセットします。
- ・(A)ボタンを押す事で、音の強弱切り替えができます。
(②と比較して、③では若干音が弱くなります)

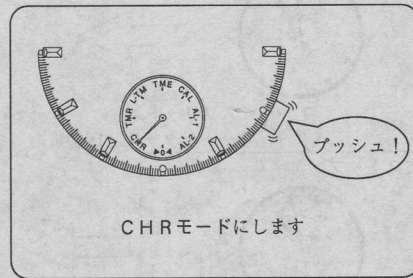
＜（M）ボタンを通常位置へ押し込む＞

デイリーアラームセット完了



(15時00分)

6. ストップウォッチの操作（CHR）



- ・ストップウォッチ計測範囲：
最大60分、1／20秒単位
- ・機能針はストップウォッチリセット
状態からスタートして1分間回転し
ます。
ストップウォッチ計測を1分以上行
なった時はストップウォッチ経過分
を表示します。
- ・ストップウォッチモードでの時・
分・24時間針は現在時刻表示です。

<リセット状態>

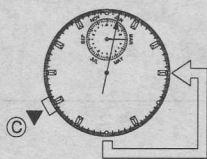


<スタート>



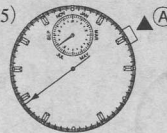
<スプリット>
オートリターン (10秒後)

<ストップ>

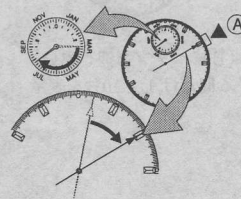
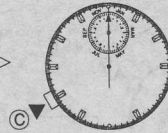


<ストップ>

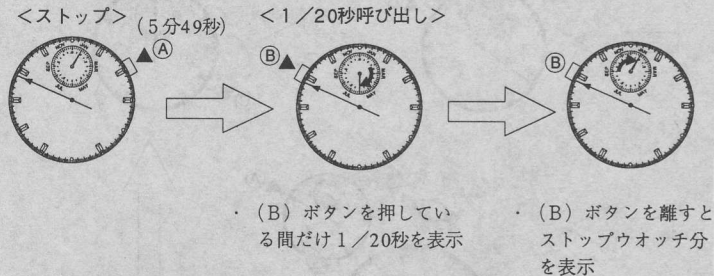
(39秒65)



<リセット状態>

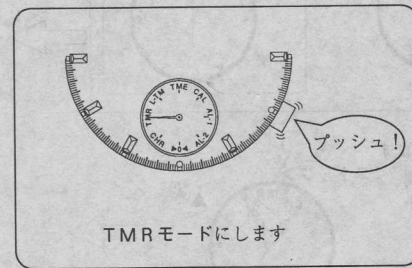


計測ストップ後の1/20秒呼び出し（計測を1分以上行なった場合のみ）



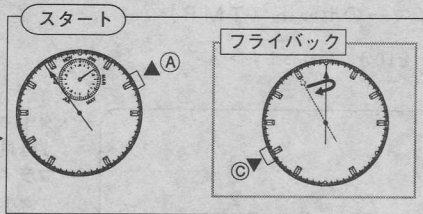
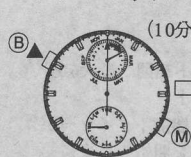
7. タイマーのセット（TMR）

＜タイマーを10分に合わせます＞



- ・ タイマーセット範囲：最大60分、1分単位セット
- ・ フライバック機能：タイマーがカウントダウンを開始した後に (C) ボタンを押すと、タイマーセット時間にもどり再び自動的にカウントダウンを開始する機能
- ・ タイマーモードでの時・分・24時間針は現在時刻表示です

< (M) ボタン通常位置
タイマーセット >

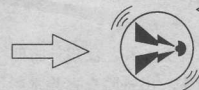


タイマー時間のセットは機能針で行ないます

- ・機能針 (タイマー分) 共にセット時間
- ・秒針 (タイマー秒) から減算します



< 5 秒間 >



< リセット (初期タイマー時間へ戻る) >

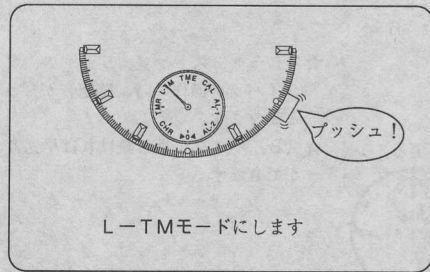


☆スタート、ストップ、リセット、フ
ライバック操作の時、確認音がピッ
と鳴ります。

☆ (B) ボタンを押し続けければ早送り
ができます。

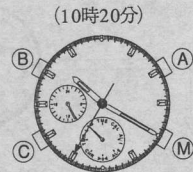
8. ローカルタイムの合わせ方 (L-TM)

<10時20分を15時20分へ合わせます>



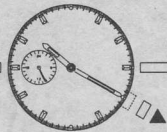
- ・ローカルタイムとは現地時間の事です。出張時など現地の時刻に合わせてデュアルタイムとして使用できます

< (M) ボタン通常位置 >



セットの方法

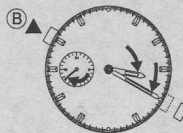
< (M) ボタン1 段引き >



< 時・分針修正

正転修正 >

(15時20分)



☆(B)、(C)ボタンを押し続けければ早送りができます。

☆時・分・24時間針は連動しています

☆分針修正は30分単位です。秒修正はできません。

< 時・分針修正

逆転修正 >

(15時20分)

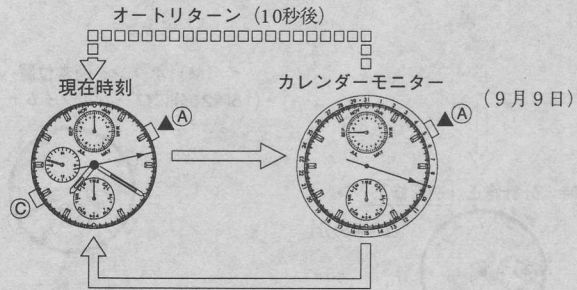


< (M) ボタンを通常位置へ押し込む >
(15時20分にローカルタイムセット完了です)



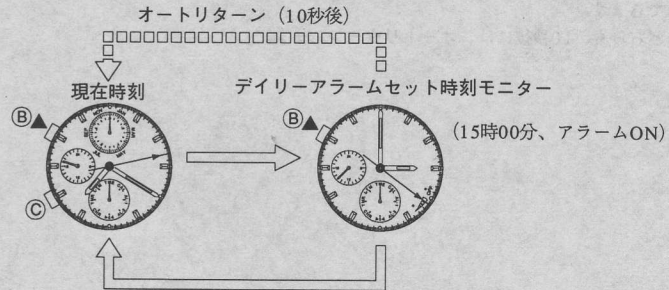
9. 通常時刻モードでのモニター機能

a. カレンダーモニター



・(A)、(C)ボタンのどちらを押してもモニターは解除できます。

b. デイリーアラーム (AL-2) セット時刻モニター



・(B)、(C)ボタンのどちらを押してもモニターは解除できます。

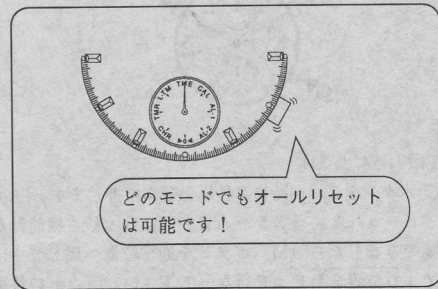
☆カレンダーモニターから、(B) ボタンを押すとデイリーアラーム(AL-2)の
セット時刻モニターができます。

☆デイリーアラームセットモニターから、(A) ボタンを押すとカレンダーモニターが
できます。

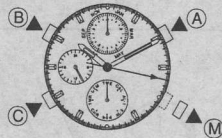
☆どちらも、10秒後には、オートリターンします。

10. オールリセット機能

オールリセットは電池交換後、あるいは時計が異常動作した時に行ないます。

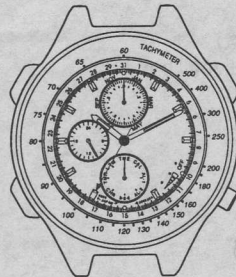


オールリセット操作



- 1) (M) ボタンを1段引きにします
- 2) (A)、(B)、(C) ボタンを3つ同時に2秒以上確実に押します。(A)、(B)、(C) ボタンを離すと“ピーッ”というアラーム音と共に分・秒・機能針が微妙に動きます。以上が確認できましたら (M) ボタンを通常位置へ戻します。そして、0位置確認モードで **0位置合わせ** を行なって下さい。(☆ゼロ位置合わせ参照)

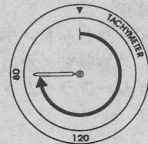
11. タキメーター付きの場合



タキメーターとは自動車などの走行時速を測る機能のことです。この時計の場合1 kmを何秒（測定可能範囲60秒以内）で走ったかによりおおよそのその区間の平均時速が測れます。

測定開始と同時にストップウォッチをスタートさせます。1 km走行した時にストップウォッチを止め、その時の秒針位置でその区間のおおよその平均時速が分かります。

1 kmを45秒で走ったとするとその区間の平均時速約80 kmです。



E. 製品仕様

1. 型式：アナログ・クォーツウオッチ多針
2. 水晶振動数：32,768 Hz (Hz = 1秒間の振動数)
3. 時間精度：常温 (5°C ~ 35°C) において平均月差±20秒以内
4. 作動温度範囲：-10°C ~ +60°C (14°F ~ 140°F)
5. 変換機：2極ステップモーター
9. 使用IC：C-MOS-LSI 1個
6. 時間調整：D. F. C
7. 付加機能
 - ・指針表示式カレンダー
月、日 (月末無修正)
 - ・アラーム1 <クイックセットアラーム>
最大セット範囲：現在時刻の次の正分より23時間59分後まで1分単位セット
 - ・アラーム2 <デイリーアラーム>
 - ・ストップウオッチ



分・秒・1/20秒 (最大計測範囲：60分)

スプリットタイム計測

- ・タイマー
最大セット範囲：60分、1分単位セット
 - ・ローカルタイム
時・分 (30分単位でセット、秒修正不可)
その他
 - ・カレンダーモニター
 - ・デイリーアラームセット時刻モニター
 - ・秒帰零機能
8. 使用電池：小型銀電池1個 電池番号280-44 (SR927W)
 9. 電池寿命：約2年 条件：アラームトータル 25秒/1日
 - アラーム1：10秒
 - アラーム2：15秒
 - タイマー 1回/1日
 - クロノグラフ 60分間/1日

F. 取扱い上のご注意

1. 防水性について（お確かめください）

	裏 ぶ た	文 字 板
非 防 水	—	—
日常生活用防水	 この文字が表示 されています。	—
日常生活用 強化防水 (5気圧防水) (10気圧防水)		 WATER RESIST ***






* 日常生活用防水及び日常生活用強化防水の場合ケース裏ぶたにWATER RESISTと表示してあります。

* 日常生活用強化防水（5気圧防水、10気圧防水）の場合、文字板にWATER RESIST ***と表示してあります。（一部デザイン上の都合で文字板上に表示のないものもあります）

* 5気圧防水
50あるいは5 bar

* 10気圧防水
100あるいは10barと表示されています。

※リュウズは常に押し込んでご使用ください。

					
	洗顔や雨などにより一時的にかか に水滴。	水仕事・水 泳・洗車・ ヨット・水上 スキーなど。	スキングダイ ビング（素 もぐりなど の潜水）	スキューバダ イビング（ボ ンベを用いる 潜水）	水滴がついた状態での ボタンの操作。
非 防 水	×	×	×	×	×
日常生活用防水	○	×	×	×	×
日常生活用強化 防水（5気圧）	○	○	×	×	×
日常生活用強化 防水（10気圧）	○	○	○	×	×

海で泳いだ後には

- ・時計は真水でよく洗い、海水などによるサビがでないようにしてください。
- ・洗ったあとはよく拭いてください。



時計の内部にも多少の湿気が有りますので、外気が時計内部の温度よりも低い時にはガラス面が曇る場合があります。曇りが一時的な場合には内部に支障はありませんが、長時間消えない場合はお買い上げ店、又はシチズン取扱い店にご相談ください。

2. 温度について



直射日光にさらしたり、高温になる所に長い間置かないでください。

*故障の原因になったり電池寿命が短くなります。



寒い所に長く置かないでください。

*多少遅れが生ずることがありますが腕につければもとの精度にもどります。

3. ショックについて



ゴルフやキャッチボール程度のショックでは影響を受けません。



床面へ落とすなどの激しいショックはあたえないでください。

4. 磁気について



テレビ・ステレオなど家庭用電気製品による影響はありません。



磁石には近づけないでください。

磁気健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア・電動マージャン台等、磁気に近づきますと一時的に進み遅れがあります。この場合は時刻修正をしてください。

5. 化学薬品・ガス・水銀について



化学薬品・ガスの中でのご使用はおさけください。

シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・トイレ用洗剤・接着剤等）が時計に付着しますと変色、溶解、ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には充分注意してください。また体温計等に使用されている水銀に触れたりしますとケース・文字板・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

6. 皮バンドについて

防水機能を有した時計で皮バンド付きの時計は、取扱いにご注意下さい。水の中で使う事が多い場合は、脱色、接着はがれなどの不具合を起こす場合がありますので、あらかじめ他の材質のバンド（金属製又はゴム製）にお取り替えの上、ご使用下さい。

7. 時計は清潔に

- ケース・ガラスについた汚れや水分は柔らかい布で拭きとってください。
- バンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れをそのままにしておきますと体質上皮膚の弱い方はかぶれる場合もあります。その状態での使用はすぐに中止してください。
- 又、ワイシャツなどの衣類の袖口を鉄サビによるシミで汚すことがありますので、サビの原因になる汗や埃などの気づかぬ汚れに対してもご注意の上常に清潔にしてご使用ください。
- バンドは多少余裕をもたせ通気性を良くしてご使用ください。
(指一本入る位が適当です。)
- 時々汚れを取りご使用ください。
ご使用の間には、ケースとリュウズの間にゴミや汚れが付着して、リュウズが引き出しにくくなることがあります。リュウズが押し込まれた状態で時々リュウズを空回らせてください。

〔金属バンド〕

石けん水等をつけた歯ブラシで部分洗いしてください。

〔皮バンド〕

表側は柔らかい乾いた布で軽く拭き取り裏側はアルコールでしめした布で汚れを取ってください。

〔プラスチックバンド／ゴムバンド〕

水で汚れを洗い落としてください。

(溶剤類の使用は、変質の恐れがありますので避けてください。)

G. 保証とアフターサービスについて

1. 保証について

正常なご使用状態で、保証期間中に万一故障が生じた場合には、別紙の保証書に従い、無料修理致します。

2. 修理用部品の保有期間について

当社は時計の機能を維持するための修理用部品の通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・リュウズ等の外装部分におきましては、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

3. 修理可能期間について

通常のご使用であれば、保証期間を過ぎても、当社の修理用部品の保有期間中は有料修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なりますので、修理の可否については現品ご持参のうえ販売店でよくご相談ください。尚、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

4. ご転居、ご贈答品の場合

保証期間中にご転居、又はご贈答品のためにお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、お近くの当社サービスセンターにご相談ください。

5. 長くご愛用いただくために定期的な診断と部品の交換を行なってください。

- 部品交換は、お買い上げ店、又はシチズンクォーツ取扱い店にお申し出ください。
- 部品交換の際は、交換だけでなく他の部品の点検、又は修理を行う必要がある場合もありますので、交換修理料金等、詳しくはお買い上げ店、又はシチズンクォーツ取扱い店にご相談ください。
- 部品交換をされる場合は、「シチズンの純正部品を使用」とご指定ください。

<防水時計専用部品の交換について>

防水時計の場合、防水性を保つために1～2年毎にお買い上げ店、又はシチズンクォーツ取扱い店で診断していただき、パッキン・ガラス・リュウズなどの交換を行なってください。

<電池交換について>

- この時計は新しい電池を組み込み後、約2年間安定した精度を維持します。
- お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は機能・性能を確認するためのモニター用電池です。お買い上げ後2年に満たないうちに寿命が切れることがありますのでご了承ください。